

応急仮設住宅における自治会の設立状況について（概要）

今後、長期化する恐れのある応急仮設住宅の生活においては、各団地において入居者が抱える課題等の情報集約を図り、自ら主体的に課題の解決を図っていくことが必要であり、入居者の孤立化等を防止する観点からも、自治会組織の立ちあげを急ぐことが重要である。

こうした観点から、自治会の設立状況について、被災県に対して定期的な報告をいただいているところ。

被災3県における自治会設立状況（1月13日時点）

1. 概要

- ・建設中や住民が少数など、一部の団地を除き、自治会が設立が進んでいる状況。
- ・宮城県では、気仙沼市で仮設住宅が完成し、当該団地の自治会設置はこれからのため、設置率は若干減少。
- ・設立済みの団地数は全体の83.7%となっている。
- ・設立準備中の団地においても、自治体職員やNPOなどが団地に出向き、自治会の必要性などを説明する会を開催するなど、自治会の立ち上げを促している。しかしながら、一部の団地においては、住民との話し合いの結果、自治会を不要とする意見が多数であるなど、により自治会を立ち上げない事例もある。

2. 被災3県ごとの設立状況（地域の自治会への組み込みも含む）

・岩手県	82.9%	（前回報告時（12/19時点）	74.9%
・宮城県	81.5%	（	82.4%
・福島県	89.7%	（	86.5%

※（参考）阪神・淡路大震災の時の自治会設立状況：63.1%（「阪神・淡路大震災に係る応急仮設住宅の記録（兵庫県）」より）

3. 【設立準備中】の具体的な状況

- ・自治会設立に向け自治体と住民で、自治会設立の説明会を開催している。
- ・準備委員会を設置し、準備委員が設立に向けて動いている。
- ・説明会を開催したが、自治会設立の理解が得られなかったため、再度説明会を開催する予定。

4. 【自治会未設置】の主な理由（897団地のうち9団地）

- ・住民と自治会の設置について話し合いをしたところ、自治会不要とする意見が多数（岩手県釜石市、宮城県気仙沼市）
- ・応急仮設住宅の完成から間もなく、自治会設置に向けた動きは、これからであるため。（宮城県気仙沼市）
- ・入居戸数が少数であるため（岩手県釜石市）

応急仮設住宅における自治会の設立状況

平成24年1月13日現在

	岩手県		宮城県		福島県		計		自治会設置率
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
設立済み	203	64.2%	233	58.1%	158	85.4%	594	65.9%	<u>83.7%</u>
地域の自治会へ組み込む	59	18.7%	94	23.4%	8	4.3%	161	17.8%	
設立準備中	52	16.5%	67	16.7%	19	10.3%	138	15.3%	
未設置	2	0.6%	7	1.7%	0	0.0%	9	1.0%	
小計	316	100.0%	401	100.0%	185	100.0%	902	100.0%	
建設中又は未入居	3		0		3		6		
合計	319		401		188		908		
(参考)全団地数	319		406		172		897		

※宮城県と福島県では、1団地内に複数の自治会が設立されたり、複数の団地を統合して自治会を設置している場合があるため、合計と全団地数が異なる。